みなレポ

百寿のお祝い
菅原悦代さん（(志)志津川中央）

　３月21日（土）に百寿を迎えた悦代さんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

　荒砥地区出身の悦代さんは、若い頃は畑や田んぼに行くため、毎日荷物を背負って坂道などを歩いたため、筋肉がつき足腰が丈夫に育ったそうです。

　悦代さんは気持ちが鷹揚で、仕事も人も食べ物も好き嫌いがなく、誰とも喧嘩したことがないため、いろいろな人から声をかけてもらえるそうです。

　自分が百寿になるまで年を取ったということを忘れるくらい、楽しく過ごしてきたと話す悦代さんは、「つらい」と言ったことがないそうで、気持ちの切り替えが早く前向きに考えるところに、ご家族も敬服されておりました。

　ご長寿の秘訣をお伺いすると、「周りの皆さまのおかげ。家族も含め、みんなに感謝している。」と話されました。周囲の皆さまもきっとご長寿を喜んでいることでしょう。

　悦代さん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

百寿のお祝い
菅原はるのさん（(志)天王山）

　３月26日（木）に百寿を迎えたはるのさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

　荒砥地区出身のはるのさんは、若い頃は家族と一緒にわかめ作業や田畑の仕事に精を出され、家庭菜園などもよく手掛けていたそうです。

　温泉が大好きで若い頃からよく通っていたといい、明るく元気なところがご家族にも愛されているようです。ご本人にとっても家族が自慢で、入所している施設でも「とてもやさしいんだ」と周囲の人に楽しそうに話すそうです。

　食べ物の好き嫌いが無いと言うはるのさんに、ご長寿の秘訣をお伺いすると、「いっぱい働いて、何でも食べること」と話されました。

　お子さんが４人、お孫さんが８人、ひ孫さんは６人いらっしゃるそうで、ご家族の皆さまもきっとご長寿を喜んでいることでしょう。

　はるのさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

百寿のお祝い
芳賀ときわさん（(志)清水）

　３月11日がお誕生日の芳賀ときわさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

　ときわさんは歌津から嫁ぎ、夫の家業の精米業、農業を支え、牛乳配達などもしながら５人のこどもを育てました。当時は義父母、おじ、おばなど十数人の大家族だったそうです。果物が好物で、好き嫌いは無いとのことで、ご長寿の秘訣は、牛乳配達で自然と体が鍛えられたことや田畑仕事をするときに自然の中で心地よい時間を過ごしたことだそうです。ご家族は「震災で夫を亡くしたりと色々大変なこともあったと思うけど、長生きしてくれて嬉しいです。」と、ときわさんのご長寿を大変喜んでいました。

　ときわさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

副町長の選任について

　南三陸町議会３月会議において議会の同意を得て、副町長として男澤知樹氏が選任されました。

　任期は令和８年４月１日から令和12年３月31日までの４年間となります。

　男澤氏は平成２年に旧歌津町役場に入庁し、復興推進課長、議会事務局長、会計管理者を歴任されました。

　就任にあたり、「町の人口減少は看過できない課題とした上で、約36年の行政経験を活かし、客観的な視点を持ちながら職員と協力して取り組みたい」と決意を述べました。

SDGs私募債で町を活性化

志津川湾
ラムサール条約登録
Ramsar Site Shizugawa

　３月23日（月）、株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー様より77SDGs私募債を活用した寄付としてドローン（約60万円相当）のご寄付をいただきました。今回のご寄附は、自然環境の把握や環境調査、ブルーカーボンへの取組みに関連する事業に活用されます。

　町では、こうした支援を力に、豊かな海と自然環境を守り、地域の魅力向上と持続的な発展に向けた取り組みをさらに進めていきます。

第18回『復興グルメ　F-1大会』開催

　第18回「復興グルメF-1大会」が３月29日（日）、志津川仮設魚市場で開催されました。東北各地から多彩なグルメが集結し、来場者の投票によりグランプリが決定する参加型イベントとして賑わいました。ステージ企画やビンゴ大会も行われ、会場は終日多くの来場者で活気に包まれました。今回が最後の開催となり、復興の歩みを締めくくる一日となりました。